



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 林賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	28,586	△2.4	271	35.7	336	29.4	306	25.8
29年3月期第3四半期	29,292	3.7	200	—	260	—	243	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 684百万円 (246.2%) 29年3月期第3四半期 197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	15.67	—
29年3月期第3四半期	12.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	20,271	8,871	43.8	453.21
29年3月期	20,862	8,246	39.5	421.25

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,871百万円 29年3月期 8,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△3.3	300	2.3	370	1.4	290	2.6	14.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	20,102,000 株	29年3月期	20,102,000 株
30年3月期3Q	526,846 株	29年3月期	526,839 株
30年3月期3Q	19,575,160 株	29年3月期3Q	19,575,205 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用環境の改善が続き穏やかな回復基調が続いております。一方、国際情勢の不確実性への懸念は続いているものの、海外経済は堅調に推移しております。

このような状況の中で当社グループは、①自社品の強化、②卸ビジネスの進化、③新規商品、新規流通の開拓と新規事業へのチャレンジ、④生産性の向上、⑤人財の活性化・情報システムの整備と高度化・物流機能の強化、⑥グループ内の連携強化を基本方針とし、業績向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,586百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は271百万円(前年同期比35.7%増)、経常利益は336百万円(前年同期比29.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、オリジナル性の高いチームウェアが作れる「プロステイタス・ウインドオーダーシステム」の開始や、ゼットベースボール公式Twitterを充実させるなど、ファン層の拡大に努めました。また、平成29年12月にカジュアルバッグブランド「TIMBUK2」の旗艦店として「TIMBUK2 TOKYO」を東京・原宿にオープンさせ、認知度の拡大に努めました。「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットのうち、テニス・バドミントン用品は、一部の取り扱い商品における流通経路変更等により低調に推移しました。一方、日本人選手の活躍もあり注目度が高まっている卓球用品や、野球・ソフトボール用品、競技シューズ、競技ウェア等は、得意先への提案やMD力が評価されたこと等により引き続き堅調に推移しました。「ライフスタイル」マーケットは、カジュアルシューズ等のフットウェアは堅調に推移したものの、アウトドア用品が一部の取り扱い商品における流通経路変更等により苦戦し、低調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、トレーニング製品ブランド「SKLZ」やテーピング類は堅調に推移しましたが、サポーターは低調に推移しました。

この結果、売上高は27,264百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益性を意識し、MD力、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフトボール用品においては、商品開発強化の一環として、スパイクとキャッチャー用具をテーマにそれぞれ「ゼットプロスタッフミーティング」を開催しました。グラブ・スパイク等のグッズは引き続き好評価を得ており順調に推移しました。「コンバース」のバスケットボール用品においては、低調に推移しました。また、当期からアウトドアブランド「Canadian East」の直販をゼット(株)へ移行したことにより、売上高が減少しました。健康関連用品は、堅調に推移しました。

この結果、売上高は244百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

(小売部門)

小売部門は、店頭においては品揃えの充実や秋以降は例年より気温が低く推移した事もありアウトドアウェアが好調に推移し、登山靴等は堅調に推移しました。また、登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」は引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は349百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、近隣の競合店との競争激化が続いておりますが、子供向けのプログラムの充実やパーソナルトレーニングの本格化もあり、前期比横ばいで推移しました。物流部門は、前期からの外部受託業務における取り扱いの減少により低調に推移しました。

この結果、売上高は727百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ591百万円減少し、20,271百万円となりました。これは主に、現金及び預金が880百万円、商品及び製品が312百万円及び投資有価証券が564百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,319百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,216百万円減少し、11,399百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が874百万円減少したこと等によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ625百万円増加し、8,871百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が248百万円及びその他有価証券評価差額金が387百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月9日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,659	4,540
受取手形及び売掛金	9,490	7,171
商品及び製品	3,006	3,319
仕掛品	34	57
原材料及び貯蔵品	132	106
その他	170	201
貸倒引当金	△58	△56
流動資産合計	16,434	15,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,841	2,858
減価償却累計額	△2,057	△2,091
建物及び構築物(純額)	783	766
土地	1,228	1,228
その他	1,201	893
減価償却累計額	△1,022	△756
その他(純額)	178	136
有形固定資産合計	2,190	2,131
無形固定資産		
その他	66	75
無形固定資産合計	66	75
投資その他の資産		
投資有価証券	1,542	2,106
長期貸付金	28	24
敷金	250	242
その他	439	434
貸倒引当金	△89	△83
投資その他の資産合計	2,170	2,724
固定資産合計	4,428	4,931
資産合計	20,862	20,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,185	8,311
短期借入金	266	133
未払法人税等	114	11
未払消費税等	165	19
賞与引当金	282	184
返品調整引当金	46	42
その他	565	620
流動負債合計	10,625	9,324
固定負債		
長期借入金	125	50
繰延税金負債	346	517
退職給付に係る負債	366	379
長期未払金	267	267
その他	885	861
固定負債合計	1,991	2,075
負債合計	12,616	11,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,527	3,775
自己株式	△74	△74
株主資本合計	7,427	7,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801	1,189
繰延ヘッジ損益	19	6
為替換算調整勘定	17	18
退職給付に係る調整累計額	△20	△18
その他の包括利益累計額合計	818	1,196
純資産合計	8,246	8,871
負債純資産合計	20,862	20,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	29,292	28,586
売上原価	23,920	23,067
売上総利益	5,371	5,519
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	344	358
運賃及び荷造費	540	533
賃借料	171	185
役員報酬及び給料手当	2,045	2,054
貸倒引当金繰入額	14	△2
賞与引当金繰入額	141	172
減価償却費	105	101
その他	1,807	1,845
販売費及び一般管理費合計	5,171	5,247
営業利益	200	271
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	23	28
受取賃貸料	13	13
業務受託料	26	26
その他	33	31
営業外収益合計	97	100
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	27	29
その他	7	3
営業外費用合計	37	34
経常利益	260	336
特別利益		
投資有価証券売却益	21	—
特別利益合計	21	—
税金等調整前四半期純利益	281	336
法人税、住民税及び事業税	38	30
法人税等調整額	△0	—
法人税等合計	38	30
四半期純利益	243	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	243	306

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	243	306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	387
繰延ヘッジ損益	55	△13
為替換算調整勘定	△14	0
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△46	377
四半期包括利益	197	684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197	684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。